

1 議 事 日 程

〔令和 7 年太宰府市議会 環境厚生常任委員会〕

令和 7 年 9 月 5 日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第 1 議案第 46 号 太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 2 議案第 48 号 令和 7 年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）について
- 日程第 3 議案第 49 号 令和 7 年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について
- 日程第 4 議案第 50 号 令和 7 年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）について
- 日程第 5 認定第 2 号 令和 6 年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 6 認定第 3 号 令和 6 年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 7 認定第 4 号 令和 6 年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 8 認定第 5 号 令和 6 年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 9 認定第 6 号 令和 6 年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（6 名）

委員長	小 畠 真由美 議員	副委員長	長谷川 公 成 議員
委員	原 田 久美子 議員	委員	舩 越 隆 之 議員
〃	森 田 正 嗣 議員	〃	今 泉 義 文 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第 18 条により説明のため出席した者の職氏名（17 名）

市民生活部長	友 添 浩 一	健康福祉部長	大 谷 賢 治
健康福祉部理事 （子ども担当）	添 田 朱 実	市 民 課 長	今 村 江利子
税 務 課 長	田 代 浩	納 税 課 長	堀ノ内 龍 治
環 境 課 長	大 石 敬 介	人事政策課長兼 人権センター所長	立 石 恵 子
国保年金課長	田 上 真 也	福 祉 課 長	山 崎 崇
生活支援課長	木 村 浩 一	介護保険課長	柳 谷 雅 子
高齢者支援課長	大 山 清 敬	保育児童課長	竹 浦 俊 晴
ごじょう保育所長	木 村 康 子	元気づくり課長	高 野 浩 二

子育て支援課長 松 尾 克 己

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長 野 寄 正 博

議 事 課 長 花 田 敏 浩

書 記 陣 内 成 美

開会 午前10時00分

〜〜〜〜〜〜〜〜 ○ 〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員長（小畠真由美委員） 皆さん、おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから環境厚生常任委員会を開会いたします。

日程につきましては、お手元に配付しているとおりです。

直ちに議案の審査に入ります。

〜〜〜〜〜〜〜〜 ○ 〜〜〜〜〜〜〜〜〜

日程第1 議案第46号 太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
について

○委員長（小畠真由美委員） 日程第1、議案第46号「太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

環境課長。

○環境課長（大石敬介） おはようございます。

議案第46号「太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について」ご説明いたします。

議案書は6ページから7ページ、新旧対照表は1ページでございます。

今回の改正につきましては、条例第5条の2に、一般廃棄物の処理に関しての手数料として定めております、指定ごみ袋について、本市のプラスチックごみの削減及び高齢者や単身者など、ごみの量が少ない方の利便性の向上を図ることを目的に、買物の際にレジ袋の代わりに使える一回り小さい特小サイズのごみ袋を新たに追加するものでございます。

追加する特小サイズのごみ袋につきましては、現行の小サイズ15リットル相当の3分の2の10リットル相当サイズで、価格は1枚10円として、コンビニやスーパーなどのレジにて1枚単位で購入可能といたします。

なお、施行日につきましては、令和8年1月1日からとしております。

この取組により使い捨てのレジ袋の使用を減らし、環境負荷の軽減を目指してまいります。

説明は、以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） お尋ねいたします。

この小の15円の分と特小という10円の分なんですけれど、この特小にわざわざ小、今、プラスチックの削減とか世帯で少なくなったところはもう、ごみ袋よりも少し小さめと言われたけど、こうなった理由をちょっとお聞かせください。皆様の中から意見が何かあったのかどう

かをちょっと詳しく教えてください。

○委員長（小島真由美委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） まず目的の一つとして、プラスチックごみの削減というのがございまして、平成30年に実施しましたごみの組成調査によりますと、レジ袋が燃えるごみのうちの2%を占めておるというデータがございますので、大量のごみ袋が焼却処分されておる現状があります。

今回の取組は、そうしたごみになっているレジ袋を断っていただいて、代わりに指定ごみ袋を購入していただくことで、プラスチック袋を2枚から1枚に半減させることを狙いとしております。

それから、利便性の向上というのがもう一つの目的としてありまして、これまでごみ袋を1枚単位で購入したいというご要望がございました。現在は市役所の地下売店で1枚単位で購入できるようにしておりますけれども、こういったお声にお応えできるものではないかと考えております。

それから、これまでよりさらに小さい袋ということになりますので、例えば単身の高齢者であるとか、ごみの量が少ない方については、より使いやすいものになるのではないかと考えておるところでございます。

以上です。

○委員長（小島真由美委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） ごみを削減するというのは、一人一人の市民の方が協力しないと削減にもいかなと思いますけれども、このごみ袋を8年1月1日から販売するということですが、売場ではいつから、早めを買っておかないといけないから、いつ頃から入るのか。1月1日から店に入るのか、いつ頃からそれが入るのかをちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（小島真由美委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 販売が1月1日を考えておりまして、委員おっしゃられるように、その前には当然、各小売店のほうには納入したいと考えておりまして、大体一月前ぐらいには納入したいと考えておるところでございます。

○委員長（小島真由美委員） ほかにありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 特小1枚10円という価格なんですけれども、今、私も買物をしますけれども、レジ袋は大体5円なんです。5円から、小さいもので3円ぐらいで、この10円という単位設定が、多分、お客様、買う方が、売り子さんが、できれば太宰府のこういう特小のものもありますよというお勧めはされると思うんですけれども、10円という価格と、普通のそこで出されている5円との差がちょっと大きくないかなと思って、その辺りをどういうふうに考えられたかと思ひまして、お伺いしたいと思います。

○委員長（小島真由美委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 10円の料金設定でございますけれども、現行の今の燃えるごみ袋、大・中・小、これがいずれも1リットル当たり1円という設定にしておりますので、今回は10リットルですので10円という価格に設定させていただいてます。

例えばマイバッグを忘れた方とか、そういう方のために、こちらの特小袋を買っていただくということで、無駄なレジ袋を買う必要がなくなるといった利点があるかなというふうには考えておるところでございます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） サイズは、例えば縦何センチ横何センチとか、分かれば教えてください。併せて小のほうもどれぐらいのサイズ感があるかなと思って、今考えていたんです。ちょっと分からないので教えてください。

○委員長（小畠真由美委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 仕様についてはこれからしっかり決めていきたいところではあるんですけれども、今回販売するのは、いわゆるロール式ではなくて、平版のレジ袋タイプのごみ袋をつくろうと考えております。

それでサイズ感については、先ほど言いましたように、今の小サイズの3分の2ぐらいの大きさということになるところを考えているところです。一般のレジ袋よりは若干大きめかなというところがございます。

○委員長（小畠真由美委員） 副委員長、どうぞ。

○副委員長（長谷川公成委員） センチとかは分からないですか。例えば縦何センチ、横何センチとか、まだそこまで決定はしてないですか。

○委員長（小畠真由美委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 今は検討段階でありますけれども、寸法については、ある程度決めていますので、すみません、今はここに持ち合わせておりませんので、また後ほど回答させていただきます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） この可燃物の特小の分に関しては、別に可燃物専用だから、今、森田委員がおっしゃったような、そのレジ袋の肉厚と、この10円という差が出ているのは、やはりこの可燃物専用ということで少しは耐久性があるわけでしょう。そういうことですよ、これ。

○委員長（小畠真由美委員） 環境課長。

○環境課長（大石敬介） 袋の厚さについては、現行の袋と同じぐらいの厚さを考えておりますので、普通のシャカシャカのごみ袋よりは耐久性があるものというふうになります。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） それでは、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第46号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、議案第46号「太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について」は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成5名、反対0名 午前10時8分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第48号 令和7年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） について

○委員長（小畠真由美委員） 次に、日程第2、議案第48号「令和7年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について」を議題とします。

補正予算書は24ページをお開きください。

執行部の説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（田上真也） ご説明申し上げます。

議案第48号「令和7年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について」ご説明申し上げます。

議案書は9ページ、補正予算書は24ページから29ページになります。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ305万8,000円を追加し、歳入歳出予算総額を歳入歳出それぞれ17億825万6,000円にお願いするものでございます。

詳細な内容につきましては、事項別明細書でご説明いたします。

28ページ、29ページ下段、3の歳出の欄をご覧ください。

1款2項1目賦課徴収費、細目001賦課関係費、12節委託料305万8,000円につきましては、令和8年度より創設される子ども・子育て支援事業の財源として各種医療保険の保険料を充てることとなっており、後期高齢者医療保険料の区分に子ども・子育て支援分が追加になることに伴う、令和8年度中の後期高齢者医療保険料算出に関するシステム改修費として、委託料の増額補正をお願いするものでございます。

この歳出予算の財源でございますが、同じページの中段の2の歳入の欄、1款2項1目一般会計繰入金で、歳出の増額分を一般会計から事務費繰入金として繰り入れるため、305万

8,000円の増額補正をお願いするものでございます。

説明は以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 電算委託料が305万程度増えているということで、私も、何でこれが増えているのかなと、今お話を伺っていると、子どもの子育ての部分がこの中に一緒に歳出予算として繰り込まれてくるという、そういうことだということですが、これは根拠法というか、それはもう既に存在して実施が予定されているものなののでしょうか。

○委員長（小畠真由美委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（田上真也） こちらにつきましては、先ほど申し上げた令和8年度から始まる、これは国のこども家庭庁が進めております子ども・子育て支援事業になりますけれども、そちらに伴いまして、その財源として後期高齢者保険料、そちらの部分に新たに区分として、その財源として、子ども・子育て支援分というのが追加になります。それに当たりまして、保険料算出のためのシステムの改修に、この予算を10分10の補助で充てられるというものでございます。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで質疑を終わります。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第48号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、議案第48号「令和7年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について」は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成5名、反対0名 午前10時13分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第49号 令和7年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について

○委員長（小嶋真由美委員） 次に、日程第3、議案第49号「令和7年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について」を議題とします。

補正予算書は30ページをお開きください。

執行部の説明を求めます。

介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） 議案第49号「令和7年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について」ご説明いたします。

補正予算書30ページ、31ページをお願いいたします。

今回の補正は、保険事業勘定の歳入歳出予算にそれぞれ4,609万円を追加し、予算総額を65億4,999万1,000円にお願いするものでございます。

詳細な補正の内容につきましては、事項別明細書でご説明いたします。

歳出からご説明させていただきます。

38ページ、39ページをお願いいたします。

1款1項1目一般管理費、細目002庶務関係費、22節償還金、利子及び割引料4,512万2,000円でございますが、これは令和6年度介護給付費負担金及び地域支援事業支援交付金等につきまして精算が完了し、超過交付となりましたので返還するものでございます。

内容といたしましては、介護給付費負担金の国への返還金2,524万9,000円、県への返還金1,456万4,000円、介護保険事業費補助金の返還金11万円、地域支援事業支援交付金の支払基金への返還金403万2,000円、地域支援事業交付金総合事業分の国への返還金71万8,000円、県への返還金44万9,000円でございます。

次に、4款2項2目一般会計繰出金、細目001一般会計繰出金、27節繰出金52万円でございます。

これは、介護保険料の第1段階から第3段階の低所得者の軽減分につきましては、国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1を負担することになっており、当初の見込みより対象人数が減少したことにより返還を行うため、一般会計に繰り出すものでございます。

次に、5款1項1目介護給付費準備基金積立金、細目001基金積立金、24節積立金44万8,000円でございます。

これは、保険料の剰余金でございますが、令和6年度の負担金、交付金等の精算分と前年度繰越金との差引きを基金に積み立てるものでございます。

これらの歳出予算の財源でございますが、補正予算書36ページ、37ページをお願いいたします。

令和6年度の精算による追加交付金として、3款2項5目地域支援事業交付金、社会保障充実分、2節過年度分134万5,000円、4款1項1目介護給付費交付金、2節過年度分277万8,000円、5款2項3目地域支援事業交付金、社会保障充実分、2節過年度分67万3,000円、また8款1項1目1節前年度繰越金4,129万4,000円の以上でございます。

説明は以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 歳出のほうで、割引料のお話が4,512万円という歳出を計上されていますけれども、これは年度決算、精算してみても返還分が出たというお話でしたけれども、この4,512という数字につきまして、いわゆるその前の年、令和5年度のときと比較して、この数字は増えたのでしょうか、それとも落ち込んだのでしょうか。

○委員長（小畠真由美委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） 申し訳ありません。今は前年度の分を持ち合わせておりませんので、後ほど回答させていただきます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） では、私のほうからすみません。この、地域支援事業の支援交付金の精算返還金というところで、400万円ぐらいあると思いますが、ここの事情についても少し説明をいただければありがたいのですが。

高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 当初の見込みより、利用料であったり、そういった事業費であったり、そういったのがちょっと見込みが少なかったため返還となっております。

年度によって、それぞれ利用する需要度が変わりますので、今年度につきましてはちょっと返還が生じているということでございます。

以上です。

○委員長（小畠真由美委員） 分かりました。

ほかにありませんね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） それではこれで質疑を終わります。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第49号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、議案第49号「令和7年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について」は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成5名、反対0名 午前10時20分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第4 議案第50号 令和7年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について**

○委員長（小畠真由美委員） 次に、日程第4、議案第50号「令和7年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について」を議題とします。

補正予算書は40ページをお開きください。

執行部の説明を求めます。

人権政策課長。

○人権政策課長（立石恵子） 議案第50号「令和7年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ55万6,000円を追加し、予算総額を102万8,000円とするものであります。

内容といたしましては、令和6年度決算において55万6,000円の剰余金が確定したことにより、住宅新築資金等公債償還積立金に計上するものであります。

説明は以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで質疑を終わります。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第50号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、議案第50号「令和7年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について」は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成5名、反対0名 午前10時22分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第2号 令和6年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（小嶋真由美委員） ここで、次の日程に入ります前に、申し上げます。

日程第5から日程第9は、各特別会計の歳入歳出決算認定となります。執行部の説明に当たっては、各会計とも先に決算全体において要点の説明をいただきます。

その後、質疑に移り、審査を進めてまいりたいと思います。

なお、質疑については、ページごとに進めませんので、質疑される委員は、まずページ番号と該当箇所をお示しの上、質疑を行っていただきたいと思います。

場合によっては、ページを委員長のほうから指し示すこともあると思いますけれども、よろしくお願いいたします。

それでは、日程第5、認定第2号「令和6年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友添浩一） 認定第2号「令和6年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の271ページから298ページ、事務報告書は70ページ及び71ページ、150ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は、35ページから37ページ、52ページとなっております。

初めに、本市国民健康保険の加入状況ですが、事務報告書の70ページをお願いいたします。

表の一番上の一般状況ですが、年度平均世帯数は8,278世帯で、前年度と比べ309世帯、3.6%の減、年度平均被保険者数は1万2,205人で、前年度と比べ642人、5.0%の減となっております。

続きまして、決算の状況についてご説明申し上げます。

決算書の272ページ、273ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、収入済額の欄の一番下、65億3,647万5,101円で、前年度に比べ3億1,372万7,564円、4.6%の減となっております。

決算書の274ページ、275ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、支出済額の欄の一番下、64億6,242万554円で、前年度に比べ3億2,516万5,077円、4.8%の減となっております。

歳入から歳出を差し引きますと、7,405万4,547円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

276ページ、277ページをお願いいたします。

1款国民健康保険税ですが、収入済額の欄の一番上、12億7,812万9,955円で、前年度に比べ2,262万8,622円、1.7%の減となっております。

278ページ、279ページをお願いいたします。

3 款県支出金ですが、収入済額の欄、45億2,555万3,000円で、前年度に比べ2億1,854万1,000円、4.6%の減となっております。

一番下の5 款繰入金ですが、6 億3,503万6,424円で、前年度に比べ3,035万4,965円、4.6%の減となっております。

280ページ、281ページをお願いいたします。

中ほどの6 款繰越金ですが、6,261万7,034円で、前年度に比べ3,713万7,693円、37.2%の減となっております。

次に、歳出の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

288ページ、289ページをお願いいたします。

2 款保険給付費ですが、支出済額の欄、43億7,335万1,102円で、前年度に比べ2億5,214万7,161円、5.5%の減となっております。

292ページ、293ページをお願いいたします。

3 款国民健康保険事業費納付金ですが、17億9,308万4,834円で、前年度に比べ7,176万7,632円、3.8%の減となっております。

4 款保健事業費ですが、1 億262万7,199円で、前年度に比べ1,272万3,653円、14.2%の増となっております。

前年度に引き続き黒字決算となりましたが、国民健康保険制度につきましては、被用者保険、いわゆる社会保険と比べ、年齢構成や医療費水準が高く、所得水準が低いという構造的な課題、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行や被用者保険の適用拡大による被保険者の減少により、非常に厳しい状況が続いております。

本市といたしましては、引き続き、保険税の収入確保に努めるとともに、医療費適正化の取組や市民の健康づくりに資する取組をはじめとする保健事業等を行うことで、国民健康保険財政の健全な運営に努めてまいります。

説明は以上でございます。

○委員長（小島真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 291ページ、出産育児諸費というところで、ここの不用額が775万円ほど出ているということで、これが出産育児一時金ということなのですが、出産をなさって、こういう形でご利用にならなかった方というのがいらっしゃるということが推測されるのですが、この数字の推移といたしますか、前年度から比べると幅が増えたものか減ったものかというのはいかがでしょうか。

○委員長（小島真由美委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（田上真也） 出産育児一時金につきましては、大体、推移で言いますとほぼ横ばいという状況になっております。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） では、私のほうから幾つか質問いたします。

まず、4款1項1目特定健診受診勧奨業務で、事務報告書でいうと150ページなんですけれども、これは成果連動型の契約をずっと以前からされているんですけれども、このP F Sというのは、たしかそうだったと思うんです。この特定健診受診勧奨業務として、これまでこういう成果連動型という形で契約をされてやってきた新しい取組だったんですけれども、ここについて少し説明を入れていただいていいですか。これまでの成果であるとか経緯であるとかをちょっと説明をお願いいたします。

国保年金課長。

○国保年金課長（田上真也） こちらの成果連動型の分につきましては、これは、まだ入ったのがそんなにたつてなくて、こちらのほうに入ったのが、令和4年度に事業を開始いたしまして、それから3年間の契約をしているという状況でございます。

こちらにつきましては、受診勧奨の内容といたしましてはSMSを使った携帯端末での受診勧奨だったり、対象者の受診履歴、心理パターンを使った勧奨はがきの送付、そういったことを行っておりまして、受診率につきましても少しずつ右肩上がりに上がっているというような状況でございます。

○委員長（小畠真由美委員） この令和6年度の730万余りの金額、こういったところの成果連動型の成果としては見合う金額だという認識で、市としては、これをずっとまだ続けていく形にはなる見込みなんではないでしょうか。

国保年金課長。

○国保年金課長（田上真也） こちらにつきましては、3年間の契約になっておりますので、またその3年間の状況を成果等含めて確認いたしまして、次の見解というところを考えていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） ということは、令和6年度、今回の決算によってしっかりと検証が行われるという認識でよろしいのでしょうか。

国保年金課長。

○国保年金課長（田上真也） こちらの実際の受診率とかが上がってくるのが、今年度の11月に上がってきて、そこで正式な成果というものが出てまいりますので、その成果等を鑑みまして評価してまいりたいと考えております。

○委員長（小畠真由美委員） 分かりました、ありがとうございます。

それと、事務報告書の70ページなんですけれども、この不納欠損額1,240万あたりあるんで

すけれども、これについて何年ぐらい、コロナ禍の影響があったのかどうか、この不納欠損額の状況と市の対応についてお聞かせください。

国保年金課長。

○国保年金課長（田上真也） 不納欠損額等につきましては、納税課と連携いたしまして、きめ細やかに督促だったりそういった取組を行っておりますけれども、その上で、まだこういった不納欠損が出てきたというところもありますので、こちらの分につきましては、また次年度、今年度も含めて、しっかり納税相談等も含めて進めてまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 分かりました。

ほかにありませんか。

森田委員、どうぞ。

○委員（森田正嗣委員） ページにいたしますと293ページ、特定健診等の診査等事業費というところですが、ここの12番の委託料なんですけど、不用額が2,224万円とちょっと大きいんです。それで、その委託料の項目を見ましたけれども、健康診査、特定健診データ分析、それから未受診者勧奨、それから未受診者、そのほかに歯科というのがございますけれども、これは一目見て、予定としてこれだけのものが必要として予算を立てられたのに、何でこれだけの残しができたのかなという、ちょっと印象を受けましたので、ご説明をお願いいたします。

○委員長（小畠真由美委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（田上真也） 特定健康診査の分の、先ほどPFSの説明をさせていただきましたけれども、こちらは成果連動型ということでノルマを設定しております。この数値まで行ったら幾らというような設定をしております、しかも、それにつきましては1年ごとに少しずつ上がるように設定しているという状況で、その上がったときの成果としてこれだけというものをあらかじめ予算化するというようなところでございますが、結果的に令和6年度につきましては、昨年と同水準の成果に至らなかったというような結果がございまして、その結果、不用額が残ったというような状況でございます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで質疑を終わります。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第2号について、認定することに賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

○委員長(小畠真由美委員) 全員挙手です。

したがって、認定第2号「令和6年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」は、認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前10時37分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 認定第3号 令和6年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長(小畠真由美委員) 次に、日程第6、認定第3号「令和6年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長(友添浩一) 認定第3号「令和6年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の299ページから312ページ、事務報告書は72ページ、151ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は37ページから39ページ、52ページから53ページとなっております。

決算書の300ページ、301ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、収入済額の欄の一番下、16億2,966万9,910円で、前年度に比べ1億7,502万9,030円、12.0%の増となっております。

決算書の302ページ、303ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、支出済額の欄の一番下、15億8,822万798円で、前年度に比べ1億8,078万498円、12.8%の増となっております。

歳入から歳出を差し引きますと4,114万9,112円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

304ページ、305ページをお願いいたします。

一番上の1款保険料13億2,525万9,821円ですが、令和6年度は被保険者数が1万1,703人と前年度より536人増加したこともあり、前年度に比べ1億7,957万6,724円、15.7%の増となっております。

決算書の中ほど、3款繰入金ですが、2億4,901万698円で、前年度に比べ1,255万7,894円、4.8%の減となっております。

306ページ、307ページをお願いいたします。

5款繰越金ですが、4,720万580円で、前年度に比べ119万8,239円、2.6%の増となっております。

次に、歳出の主なものにつきまして、事項別明細書にて説明いたします。

308ページ、309ページをお願いいたします。

一番上、1款総務費ですが、15億8,660万5,358円で、前年度に比べ1億7,971万7,828円、12.8%の増となっております。

また、総務費の中でも、2目広域連合負担金は、15億6,463万4,279円であります。

事務報告書の72ページをお願いいたします。

広域連合負担金の内訳ですが、事務費負担金が2,989万6,249円、保険料負担金が13億769万8,411円、保険基盤安定制度負担金が2億2,703万9,619円となっております。

後期高齢者医療制度につきましては、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行による被保険者の増加や高齢化、医療の高度化などの医療費の増加などによりまして、財政的に厳しくなる見込みであります。

本市といたしましても、保険者である福岡県後期高齢者医療広域連合と連携して、今後も適正な運営に努めてまいります。

説明は以上でございます。

○委員長（小島真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小島真由美委員） これで質疑を終わります。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小島真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第3号について、認定することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小島真由美委員） 全員挙手です。

したがって、認定第3号「令和6年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」は、認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前10時42分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第4号 令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（小島真由美委員） 次に、日程第7、認定第4号「令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（大谷賢治） 認定第4号「令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の313ページから364ページ、事務報告書は73、74ページと152ページから154ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は40ページから43ページ、55、56ページとなっております。

初めに、本市の高齢者を取り巻く状況ですが、事務報告書の73ページをご覧ください。

一番上の表になりますが、「1. 一般状況」についてですが、本市の令和6年度末現在の第1号被保険者の数は2万82人で、前年と比べ79人、0.4%の増となっております。

内訳につきましては、65歳以上75歳未満が474人の減、75歳以上が553人の増となっております。

次に、「3. 申請・認定の状況」の（2）要介護・要支援認定者数は、令和6年度末現在3,673人で、前年度と比べ141人、4%の増となっております。

また、今年は団塊の世代の方が75歳を迎え、今後は高齢者の一人暮らしの世帯や、認知症高齢者の増加も見込まれるところでございます。

続きまして、決算状況の保険事業勘定からご説明申し上げます。

決算書の316、317ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入総額は60億7,687万1,010円で、前年度に比べ4億99万3,348円、7.1%の増となっております。

次に、318、319ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、歳出総額は60億3,557万8,490円でございまして、前年度に比べ4億2,123万1,835円、7.5%の増となっております。

歳入から歳出を引きました額は4,129万2,520円でございまして、黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

320ページから329ページをお願いいたします。

まず、1款保険料についてですが、保険料は65歳以上の第1号被保険者保険料でございまして、13億2,839万2,063円でございます。前年度に比べ9,514万4,978円、7.7%の増となっております。

次に、3款国庫支出金でございしますが、13億4,364万9,247円でございまして、前年度に比べ8,158万6,526円、6.5%の増となっております。

次に、4款支払基金交付金でございしますが、40歳から64歳までの第2号被保険者の保険料でございまして、各医療保険者が健康保険料と一緒に徴収している介護保険料交付金として、15億2,829万3,690円を受け入れており、前年度に比べ1億2,404万2,594円、8.8%の増となっております。

次に、5款県支出金でございしますが、8億4,319万3,206円でございまして、前年度に比べ4,368万4,597円、5.5%の増となっております。

次のページをお願いいたします。

7 款繰入金でございますが、9 億7,027万2,186円でございます、前年度に比べ6,089万2,592円、6.7%の増となっております。

なお、令和6年度は介護給付費等の伸びにより、介護給付費支払準備基金から759万1,000円を繰り入れております。

次に、歳出の主なものにつきましても事項別明細書にてご説明を申し上げます。

330ページから335ページをお願いいたします。

まず、1 款総務費でございますが、2 億8,227万2,815円でございます、前年度に比べ2,240万8,469円、8.6%の増となっております。

主な要因といたしましては、人件費の増や計画策定が終了したことによる委託料の減、令和5年度の介護給付費交付金等の精算に伴う償還金の増、また、介護認定のコロナ特例措置の影響が減少したことによる介護認定審査会費の減などによるものでございます。

次に、334ページから343ページをお願いいたします。

2 款保険給付費でございますが、54億1,726万9,314円でございます、前年度に比べ3 億8,716万3,056円、7.7%の増となっております。

保険給付費増の主な要因につきましては、国の3年に1回の報酬改定と利用増によるものでございまして、過去10年間で最高の伸び率となっております。

主な内容につきましては、2 款1 項介護サービス等諸費は、要介護1 から5 までの方が利用する介護サービス費でございまして、前年度比3 億6,369万5,831円、7.9%の増となっております。

また、338ページの2 款2 項介護予防サービス等諸費は、要支援1 及び2 の方が利用する介護サービス費でございまして、前年度比600万5,291円、2.7%の増となっております。

次に、342ページから353ページをお願いいたします。

3 款地域支援事業費でございますが、3 億730万5,620円でございます、前年度に比べ2,753万6,711円、9.8%の増となっております。

この増額の主な要因といたしましては、344ページの3 款2 項一般介護予防事業費ですが、これは高齢者の介護予防を目的とした事業費でございまして、前年度比404万5,787円、19.2%の増、同じく344ページの3 款3 項包括的支援事業・任意事業費は、高齢者の自立支援を目的とした事業費でございまして、前年度比1,655万8,071円、13.2%の増となっております。

以上が保険事業勘定の概要でございます。

続きまして、介護サービス事業勘定についてご説明申し上げます。

決算書は356、357ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入総額6,648万3,217円でございます、前年度に比べ1,256万7,376円、23.3%の増となっております。

次に、358ページ、359ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましても、歳出総額6,648万3,217円でございます。前年度に比べ1,256万7,376円、23.3%の増となっております。

歳入から歳出を引きました額は、0円となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

360、361ページをお願いいたします。

1 款サービス収入でございますが4,405万6,857円でございます。前年度に比べ18万2,037円、0.4%の増となっております。

次に、歳出の主なものにつきましても事項別明細書にてご説明いたします。

362ページ、363ページをお願いいたします。

歳出の全額が1 款総務費でございます。6,648万3,217円でございます。前年度に比べ1,256万7,376円、23.3%の増となっております。

主な要因といたしましては、会計年度任用職員の人件費の増によるものでございます。

以上がサービス事業勘定の概要でございます。

本市といたしましては、地域住民の互助による活動や介護予防のさらなる取組、関係機関などが一体となり、自立支援・重度化防止などを推進することで介護保険財政の健全な運営に努めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○委員長（小島真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

ちょっと時間を取りますので、少し見てみてください。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小島真由美委員） では、私のほうから1つ、事務報告書の74ページを見ましたところ、紙おむつの給付サービス事業を太宰府市は独自でしていただいているんですが、他市、特に福岡市などでも要介護3以上とかということみたいですが、太宰府市は要介護1以上だったと認識しているんですが、この事業について、金額もちょっと上がってはきているんですが、人数的には横ばいなのかなとも思っているんですが、状況と、またこの物価高騰の中で紙おむつの価格が上がってきているのかどうか、事業者の選定などについてもちょっと説明をお願いしたいと思っていますがよろしいですか。

高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） まず対象者につきましては、委員長が言われますように要介護1から要介護5までの方を対象としております。

物価につきましては、やはり物価高騰の影響を受けまして、おむつ代も若干値上がりはしているところでございます。

業者につきましては、現在3業者に委託というか、そういったのをお願いしております。

利用者の方が申請に来られましたら、利用者の方に業者のほうを選んでいただく方式を採っておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 分かりました。

ほかにありませんか。

副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） 事務報告書74ページなんですけれど、一般介護予防事業の転ばんための体力測定、測定と結果説明会とあると思います。これは回数が、ほかの回数に比べて2回と少ないんですが、これは何か理由があるんですか。

○委員長（小畠真由美委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） こちらの教室につきましては年度内に2回しか実施しておりませんので、ほかの教室に比べたら人数が、回数も含めて少なくなっているところでございます。

○委員長（小畠真由美委員） 副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） 2回という理由は、例えば4回とか6回とか8回とかできなかったのかなと思うんですが、2回になった何か理由はあるんですか。

○委員長（小畠真由美委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 特に理由というのはございませんが、いろいろうちのほうもこのほかに、すこやか運動教室であったり、そういった教室を実施しておりますので、ほかの教室との兼ね合いから、この事業につきましては、以前から年2回ということではしております。

以上です。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 決算書の321ページです。介護保険料の徴収、これは歳入のほうですけども、普通徴収の保険料が、収入未済額が394万円という数字が上がっておりますけれども、これは常に比較の話で恐縮なんですけれども、この394万円という数字というのは、前年度から比較すると増えたんでしょうか、減ったんでしょうか。

○委員長（小畠真由美委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） 前年度に比べますと50万ほど減っております。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 歳出のほうになります。331ページですけども、総務費のほうで管理費、その中で庶務関係費として委託料というのがございますけれども、委託料につきましては不用額として上がってますのが、364万円という形で上がってるんですが、これが、明細を拝見しますと介護保険システム電算委託料、介護保険システム改修委託料という2つの項目が上

がっておりまして、この項目というのは、通常何らかの年初に当たって計算をするものだと思いますけれども、なぜこういう金額の差額が出たのか、ちょっと教えていただけませんかでしょうか。

○委員長（小畠真由美委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） 電算委託料につきましては、令和6年度8月法改正の概算見積りが若干高かったというところで不用額が出ております。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 再質問はいいですか。ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） では1つ私のほうから、事務報告書の152ページを見ていただくと、3款2項1目、細目001介護予防事業委託料として、太宰府市一般介護予防事業元気アップ教室業務委託ということで、くまもと健康支援研究所というところが3つしていただいていると思っています。

これは、例えば元気アップ教室、それからすこやか運動教室、これは何か連動しているのかどうか、また、これは同じところが3つ持っている理由というところも含めてなんですが、この介護予防についての、今の利用者の増減も含めてご説明いただけたらと思います。

高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） まず、この業者、くまもと健康支援研究所につきましては、高齢者支援計画の、今現在、第9期ですけれども、その策定に携わっている業者でございます。第8期につきましても同じ業者でございました。

ということで、太宰府市の高齢者を取り巻く現状であったり分析であったり、そういったのに非常にたけている部分がございますので、そういった事情も含めまして業者選定をしておるところでございます。

各教室の参加の人数ですけれども、やはりコロナ禍では中止であったり自粛したんですけれども、5類も明けまして、今現在、通常どおり人数というのは増えているところがございます。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） ありがとうございます。

今の医療費も含めていろいろなことも、後期高齢者の人数も増えてくるとか様々な現状がある中で、この介護予防事業というのは非常にこれから大事になってくるんですけれども、事業としては今幾つ事業があるんでしょうか。

○委員長（小畠真由美委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） 運動教室につきましては5つでございます。

○委員長（小畠真由美委員） ありがとうございます。

ほかによろしいですか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 歳出のほうの保険給付費として、335ページから少し教えていただきたいのですが、18節の負担金というところ、それから、そこにあります負担金について2,657万円という不用額が出ております。これは保険給付の関係かなという、居宅介護サービス給付という形のものかなと思いますけれども、これは利用者が少なかったということなんでしょうか。

○委員長（小畠真由美委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） こちらの不用額につきましては、予算に対する不用額でございます、利用者は増加しております。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで質疑を終わります。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第4号について、認定することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、認定第4号「令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」は、認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前11時3分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第8 認定第5号 令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（小畠真由美委員） 次に、日程第8、認定第5号「令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友添浩一） 認定第5号「令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の366ページから376ページ、事務報告書は75ページ、155ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は44ページから45ページ、53ページとなっております。

決算書の366ページから367ページをお願いいたします。

歳入歳出決算につきましては、歳入総額が145万5,026円となっており、対前年比では86万5,057円の減額となっております。

決算書の368ページから369ページをお願いします。

歳出決算につきましては、歳出総額89万8,610円となっており、対前年度比では87万5,508円の減額となっております。

歳入及び歳出が減額になりました主な理由は、令和5年度の償還金が令和4年度の償還金を下回り、歳入における前年度繰越金、歳出における基金積立金が減額になったことによるものでございます。

歳入から歳出を引きますと55万6,416円の黒字決算となっております。

今後の滞納解消に向けた取組といたしましては、経済状況が厳しい状況の中、償還計画相談を行い計画的、継続的な返済を促し、滞納解消に努めていきます。

また、返済困難者に対しましては、県や委託弁護士と相談し、県の助成金制度を活用し滞納整理を行ってまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで質疑を終わります。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第5号について、認定することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、認定第5号「令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」は、認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前11時6分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第9 認定第6号 令和6年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（小畠真由美委員） 次に、日程第9、認定第6号「令和6年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（大谷賢治） 認定第6号「令和6年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書377ページから386ページ、事務報告書は76ページと156ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は46、47ページとなっております。

筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計につきましては、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第15条の規定に基づく介護給付費等の支給に関する審査会として、平成18年度から筑紫地区障害支援区分等審査会を筑紫地区5市で共同設置しており、筑紫地区障害支援区分等審査会の共同設置に関する規約第3条第2項の規定に基づきまして、令和6年度から本市が庶務担当市となっていることから、特別会計決算につきまして上程させていただいております。

続きまして、審査会の開催状況についてですが、事務報告書の76ページをお願いいたします。

令和6年度におきましては、開催回数が80回、審査判定件数が912件となっております。

次に、決算の状況についてご説明申し上げます。決算書の378、379ページをご覧ください。

歳入総額につきましては、1,302万2,633円でございます。

次に、380ページ、381ページをお願いいたします。

歳出総額につきましても歳入総額と同額となっており、1,302万2,633円でございます。よって、歳入から歳出を差し引いた収支は0円でございます。

次に、主な内容を事項別明細書にてご説明いたします。

382ページ、383ページをお願いいたします。

まず歳入についてですが、1款分担金及び負担金は、各市からの審査会共同設置負担金で1,302万2,633円でございます。

各市からの負担金につきましては、各市の審査件数に応じて負担する件数割と、均等に5市で負担する均等割により、負担金額を決定しております。

次に、384、385ページをお願いいたします。

歳出につきましては、大きく分けて、審査会の運営を行う一般管理費と、審査会の委員費用となる審査会関係費となっております。

最初に、1款1項1目一般管理費の合計額は、支出済額の欄の上から3段目に記載しておりますけれども、804万5,633円となっております。

内容といたしましては、審査会事務局の会計年度任用職員の給料、手当などの事務費と、審査会支援システムの関係費としてシステムの保守委託料、筑紫地区介護認定審査会と共同で使用する回線の負担金となっております。

次に、2項1目審査会関係費でございます。

決算額は497万7,000円ございまして、内容といたしましては、80回開催いたしました審査

会の委員報酬及び費用弁償でございます。

以上を合計いたしまして、歳出合計1,302万2,633円でございます。

なお、この会計に当たりましては単年度精算となっておりますので、繰越金等は発生いたしません。

説明は以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） 1つだけ教えてください。事務報告書の76ページなんですけれど、開催回数80回、審査判定数912件とありますが、やはり審査判定数においては前年度に比べて増加傾向にあるんですか。教えてください。

○委員長（小畠真由美委員） 福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 審査件数ですけれども、令和5年度が758件、令和6年度が912件と増加傾向でございます。

以上です。

○委員長（小畠真由美委員） 関連してですが、本市は、このうちの何件なのか教えてください。福祉課長。

○福祉課長（山崎 崇） 令和6年度におきまして全体で912件、本市におきましては141件となっております。

以上です。

○委員長（小畠真由美委員） ありがとうございます。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） それでは、これで質疑を終わります。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第6号について、認定することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、認定第6号「令和6年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」は、認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前11時12分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（小島真由美委員） 以上で、当委員会に審査付託された案件の審査は全て終了しました。  
ここでお諮りします。

本会議における委員会の審査内容と結果の報告及び閉会中の委員派遣承認要求書の提出につきましては、委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小島真由美委員） 異議なしと認め、委員会の審査内容と結果の報告、委員派遣承認要求書の提出につきましては、委員長に一任することに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（小島真由美委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） 先ほど、令和7年度の介護保険特別事業会計補正予算のところで、森田委員よりご質問いただきました前年度の償還金の額でございますけれども、前年度の返還金が約6,000万となっております、今年度は1,500万ほど減少しております。
以上でございます。

○委員長（小島真由美委員） ありがとうございます。
環境課長。

○環境課長（大石敬介） 先ほど、議案第46号「太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について」、長谷川副委員長よりご質問がありました、特小サイズのごみ袋の寸法でございますが、縦が500ミリ、横が250ミリでございます。ちなみに小サイズでございますが、縦が600ミリで横が315ミリのサイズとなっております。
以上です。

○委員長（小島真由美委員） ありがとうございました。
委員の皆さんはよろしいですか。
それでは、以上をもちまして、環境厚生常任委員会を閉会します。
お疲れさまでした。

閉会 午前11時13分

~~~~~ ○ ~~~~~

太宰府市議会委員会条例第27条により、上記のとおり環境厚生常任委員会の会議次第を書記に記録させ、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和7年11月14日

環境厚生常任委員会 委員長 小 畠 真由美